



津軽塗コップも販売

弘前市クラフトコーディネーター

矢島さんがショップ開店

東京・目黒

ショップ内で津軽塗のコップを手にする矢島さん

弘前市が委嘱した市クラフトコーディネーターの一人で会社社長の矢島里佳さん(26)は東京都出身が東京・目黒に、伝統文化・産業の技術を生かした子供向け日用品を販売するショップ「aerumeguro」を26日にオープンする。本県関係では「津軽塗のこぼしにくいコップ」を常設展示、販売する。

国内の伝統技術を持つ職人とともに製作するため、株式会社「和える」を創業。「津軽塗のこぼしにくいコップ」もその一つで、昨年、弘前市の津軽塗職人と矢島さんが共同開発し、販売を開始した。8月末にはこのコップがフランス・パリで開かれる展示販売会にも出展される。

矢島さんは2011年に子供向け日用品を

店員が『このくらいの年齢の子供にはどのようなものがいいか』といった相談に乗った

り、お客さまに商品を手にとってもらったりして、魅力を伝えたい」と語った。
ショップの営業時間は正午から午後9時まで。定休日は水曜日。住所は東京都品川区上大崎3の10の50。
(下山高秋)